

# 平成21年度外国語活動における教材の効果的な活用及び 評価の在り方等に関する実践研究事業

青森市立堤小学校

## 1 学校の概要

### (1) 学校規模

- ① 学級数：15学級
- ② 生徒数：468名
- ③ 教職員数：22名
- ④ 活動の対象学年：5学年・2学級・71名，6学年・3学級・81名

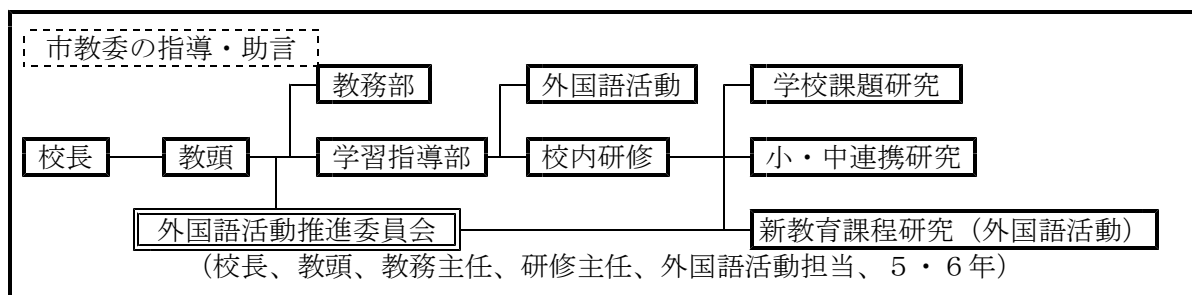
### (2) 学校環境

- ① 本校は、人口約31万人の青森市中心部に位置している。中央市民センター、志功記念館、放送局等の文化的施設や高層マンションを学区に抱え、全国各地からの転出入者も多く、教育的関心の高い地域である。常に新しい風を受けながら、保護者や地域住民の協力を得た、開かれた教育活動を展開している。
- ② 保護者の英語に対する興味・関心が高く、英語塾に通う児童も少なくない。また、対外的な英語の交流活動にも進んで参加している児童もいる。CIR,ALTは、年13回来校し、外国人に触れ合う機会が多い。

### (3) 連絡先

- ① 住所：〒030-0813  
青森県青森市松原2丁目4番4号
- ② 電話：017-734-5579
- ③ FAX：017-734-5621
- ④ ホームページ：<http://www.aomoricity.ed.jp/tsutsumisyo/>
- ⑤ 電子メール：[tsutsumisyo@aomoricity.ed.jp](mailto:tsutsumisyo@aomoricity.ed.jp)

## 2 事業推進組織



### 3 事業経過

月	取組の内容	備考
4月	・第1回外国語活動推進委員会（基本・年間計画の確認） ・外国語活動年間指導計画の確認 《日常の授業実践》 ・児童の意識調査①（下旬） ↓	関心・意欲について
5月	・校内外国語環境整備 ↓	取組の現状を発表
6月	・外国語活動校内研修会 【校内授業公開（5年）】 （指導案検討・研究協議） ↓	
7月	・児童の意識調査②（中旬） ↓ ・第2回外国語活動推進委員会（1学期の検証） ↓ ※連絡協議会①参加 ↓	集中授業の設定
8月	・外国語活動推進委員会校内研修会（指導主事要請） ↓ ・第3回外国語活動推進委員会（2学期の確認） ↓	
9月	・外国語活動校内研修会 【校内授業研究（5.6年）】 （指導主事要請） ↓	
10月	※平成21年度小学校における英語活動等 ↓ 国際理解活動指導者養成研修参加 ↓	
11月	・外国語活動校内研修会 【校内授業公開（6年）】 （指導主事要請）（指導案検討・研究協議） ↓ ※外国語に関する研修会参加 ↓ ・文部科学省指定『英語教育改善のための調査研究事業』 研究協議会参加（京都教育大学附属小・中学校） ↓ ・京都市小学校英語活動研究大会（京都市総合教育センター） ↓	
12月	・児童の意識調査③（中旬） ↓ ※連絡協議会②参加 ↓	
1月	・第4回外国語活動推進委員会（今年度の検証） ↓ ・外国語活動校内研修会 ↓	
2月	・研究のまとめ、次年度計画の検討、確認 ↓ [実践事例集]	
3月	《日常の授業実践》 ↓	

## 4 具体的取組内容

- (1) 文部科学省が作成する小学校における外国語活動のための教材を活用した授業の実践
  - ① 日常の授業での「英語ノート」、「付属CD」等の積極的な活用とその効果的な活用方法の探究
  - ② 児童の実態等に応じた外国語活動の教材の活用を位置づけた年間指導計画の作成及び修正
  - ③ 外国語活動の単位時間当たりの学習指導案の蓄積・改善
- (2) コミュニケーション能力の素地に関する評価の観点及び評価方法の研究
  - ① 外国語活動における理解、態度、関心に関わる評価基準の究明
  - ② 単位時間や年間における効果的な評価方法や評価場面の工夫
- (3) 児童の興味・関心等の学習状況の変容に関する定量的な把握及び文部科学省が実施するアンケート等の調査の実施
  - ① 児童の意識の変容を把握するための年間を通じたアンケート調査の実施と分析
  - ② 単位時間における事前と事後の興味・関心の変容の把握の効果的な方法の工夫
- (4) 授業の中心となる学級担任等及び校内の他の教員の指導力向上のための取組
  - ① 指導主事等を要請した校内研修会の実施による外国語活動の指導方法等の究明
  - ② 校内の「外国語活動推進委員会」を中核とする情報交換や指導方法の協議・改善
  - ③ 校内公開授業及び研究協議による指導力の向上と実践事例の蓄積
  - ④ 学級担任のみで行う外国語活動の効果的な指導方法と教材の整備・開発
- (5) 学級担任等を補助するためのALTや地域人材等の外部人材の効果的な活用
  - ① ALT等とのティーム・ティーチングに関わる有効的指導方法の究明
  - ② 外国語活動の指導が可能な地域人材等の確保
- (6) 他の小学校や中学校等との連携
  - ① 同中学校区内の小学校との外国語活動の連携を図るための意見交換や授業参観の実施
  - ② 年間指導計画等のカリキュラム作成等における中学校での指導内容との調整・連携
  - ③ 小・中学校間における教員の授業参観や指導体験による連携の強化
- (7) その他（校内における外国語活動推進体制の構築、地域との連携等）
  - ① 学習指導部及び校内研修を核とする組織としての外国語活動推進委員会の設置

## 5 取組の成果と課題

### (1) 成果

- ① 毎時間、英語ノートを活用して授業を行ったことで、年間指導計画に従って計画的に学習を行うことができ、学級差がなくなった。付属のCDやDVDを活用したことで、いつでも正確で同じ音声を繰り返すことができ、効果的に外国語の音声に親しませることができた。
- ② 英語ノートの学習内容が段階を経てスパイラルで深まっているので、児童が理解しやすい。また、国際理解の内容やコミュニケーションを中心とした活動内容が工夫されていて、児童が意欲をもって活動に取り組んだ。
- ③ コミュニケーション活動時間を積極的に設けたことで、児童の意識が「英語のゲームが楽しい。」から「英語で友達と話すことが楽しい。」に高まってきた。
- ④ 単元ごとと学期ごとに自己評価カードを用いて評価を行ったことで、行動観察や発表観察からは

わからない児童の見とりができた。また一人一人の変容を把握することができ、授業に生かした。

- ⑤ 英語ノートの指導資料を活用することで、ALTやCIRとの打ち合わせがスムーズになった。役割分担が明確であり、アクティビティーのデモンストレーション例がわかりやすく短い時間で確実に授業の流れが確認できた。
- ⑥ 指導主事から有益な指導助言をいただいたことで、英語ノートの活用の仕方や外国語活動におけるコミュニケーション活動のポイント評価の在り方等について、全職員で共通理解することができた。全職員で取り組んでいくという意識が生まれ、職員間の連携が図られてきている。
- ⑦ 授業以外で自然に英語に親しませる時間を設定した(Helloタイム・給食時の校内放送)ことで、より英語の音声に慣れ親しみ、外国語活動に意欲をもって取り組んでいる。

## (2) 課題

- ① 外国語活動の目標に基づいた評価基準を設定し、単元ごとの自己評価カードと学期ごとの自己評価を作成したが、まだ不十分である。児童自身の変容を把握でき、意欲が高まるように自己評価カードを工夫したり、ファイルに保管させたりする必要がある。また教師が授業の中で評価できるシートの作成を考えている。
- ② 児童の実態、学習のねらいにあわせて英語ノートを上手にアレンジしながら使っていく必要がある。主に前時の復習やドリル的な学習の場面での活動、ウォーミングアップ的なアクティビティーを児童の意欲が高まるようにしたい。
- ③ 楽しい活動(Fun)から興味をそそられる活動(Interesting)への授業構成になるように、場面設定の工夫をしたり、インタラクティブなゲームを取り入れたり、児童の実態に合わせ、英語ノートの内容に工夫を加えたい。
- ④ 教師によっては、外国語活動の授業実践に消極的になる場合も少なくない。教師にとっても取り組み易い学習過程の工夫や、クラスルームイングリッシュやアクティビティーの進め方等の日常的な研修の場が必要である。
- ⑤ 視聴覚機器を活用した授業は、児童の意欲も高まり、音声に慣れ親しむにもとても効果的であるが、その準備や操作にT.Tの補助が必要になる場合が多い。
- ⑥ 英語ノートの指導資料の指導案はALTとのチームティーチングで行う方がより効果的であるが、学級担任が一人で行うにはゲームの説明が難しいときがある。ゲームの仕方を全員に確実に伝えることを第一に考え、短く簡単な日本語での説明を工夫する必要がある。
- ⑦ 学習したことが振り返られるような教室環境の工夫が必要である。

### 授業の様子〈5学年〉



数で遊ぼう  
(カードの提示も児童を生かして)

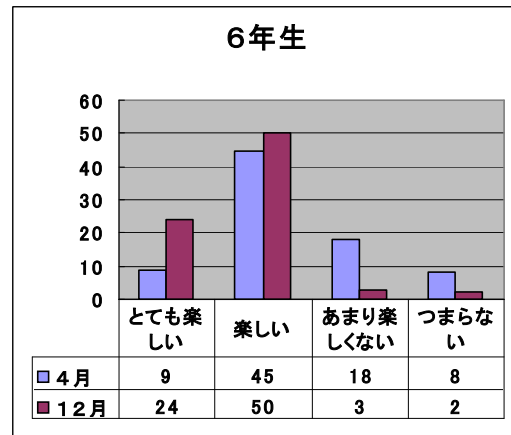
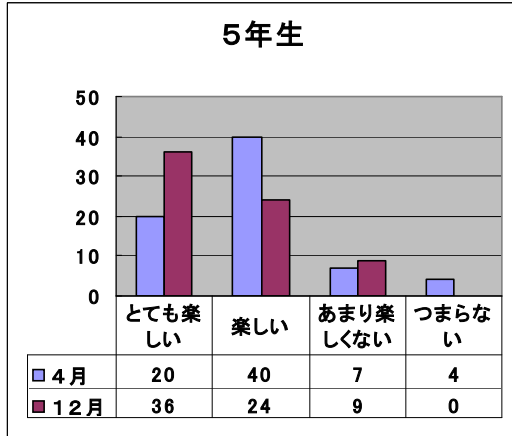


数字ピラミッドゲーム  
(英語を使って友だちと積極的に関わる場の工夫)

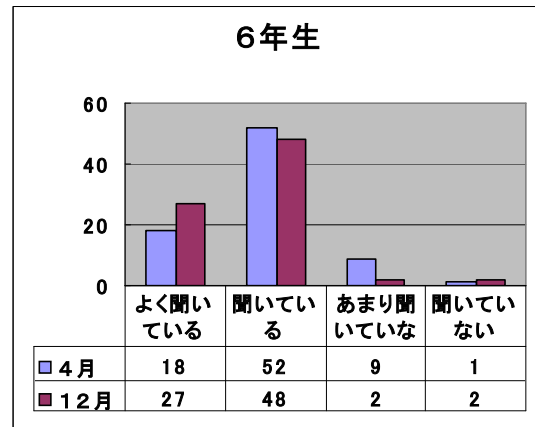
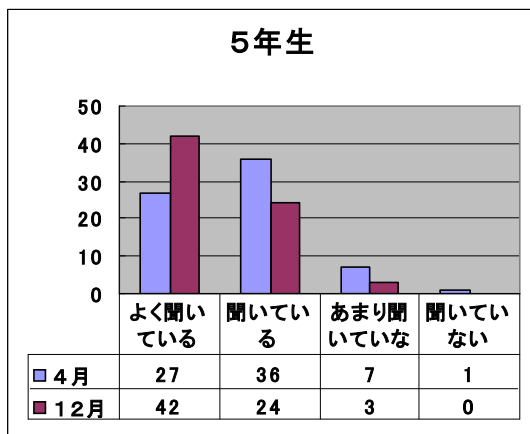
## <児童のアンケート結果>

	4月	12月
5年生	71名	69名(-2)
6年生	80名	79名(-1)

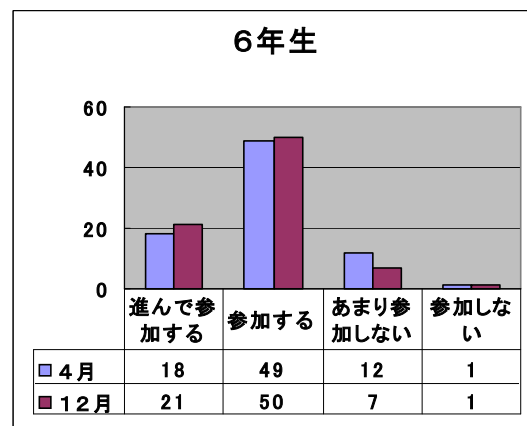
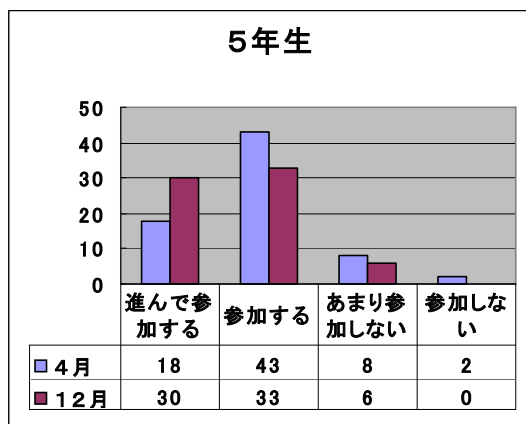
### 1, 外国語活動（ハロータイムを含む）は楽しいですか



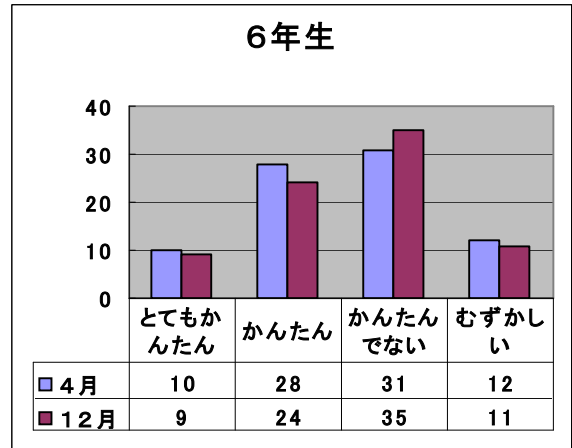
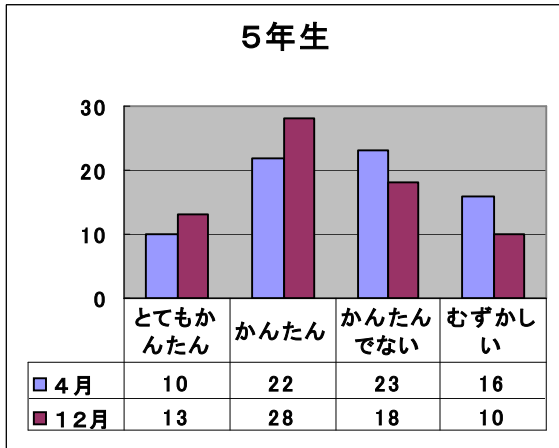
### 2, 先生や友だちの話す英語をよく聞いていますか



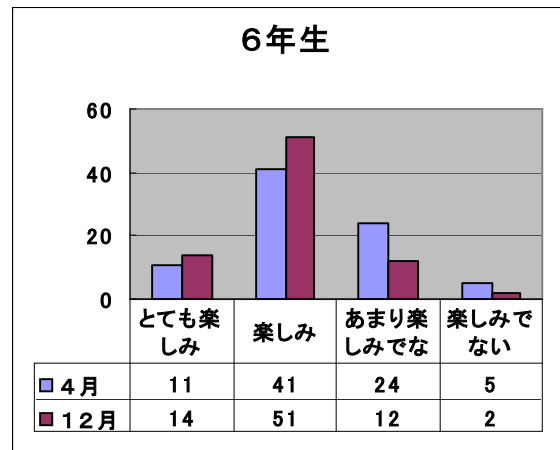
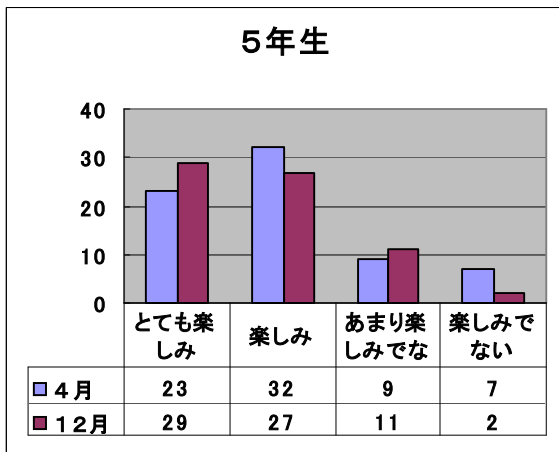
### 3, 歌やゲーム、かんたんな会話の練習に参加していますか



#### 4、英語はむずかしいと思いますか



#### 5、外国語活動の授業を楽しみにしていますか



#### 〈アンケート結果の考察〉

本校では17年度から全校ハロータイムや低・中・高学年ごとのハロータイムを朝の活動の時間に設定し、英語活動を行ってきた。現在の5・6年生は1・2年生の頃から歌・チャンツ・ゲーム・英会話体操などで英語の音声に慣れ親しんでいる。また、6年生は年間35時間、外国語活動に取り組んできた。

アンケートの結果から、4月に比べ12月の方が全体的に外国語活動に対するプラスの意識が高まっていることがわかる。これは、昨年度までの活動以上に英語ノートを活用した授業が効果的であったことを裏付けている。デジタル機器を活用しながら計画的に授業を行ったこと、学級担任が主となって、導入場面や関わり合う場を工夫しながら積極的に取り組んだ成果ともいえる。

英語を進んで聞いたり話したりする児童が増えてきたことは、歌・チャンツ・ゲームを単純に楽しむ意識から友達と英語で話すことが楽しいと言う意識の高まりであるとも考えられる。進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の姿につながってきている。

しかし、外国語活動の授業をあまり楽しみでないと答えている児童が各学年に十数名いることは大きな課題である。これは英語を難しいと感じている児童の数と関係があると思われる。単元が進むにつれ学習内容が難しくなり、CDの音声は速く聞き取れない、基本の話形・単語等が多くなり、覚えられない等の理由が考えられる。外国語活動は「楽しくコミュニケーションすること」がねらいであることを明確にし、児童の実態に合わせて英語ノートを活用していく必要がある。

## 児童の意識の変容（5・6年生）

\*アンケート調査の結果より抜粋

### 〈4月〉

#### 楽しい理由(時)

- ・ゲームをしながら英語を覚えられる
- ・英語の歌やダンスが楽しい
- ・友達と英語で話すことが楽しい
- ・新しいことを覚えるのが楽しい
- ・簡単な時
- ・下学年とふれあえる
- ・正しい英語の発音やアクセントがわかった時

#### つまらない理由(時)

- ・意味がわからない時
- ・ダンスやゲームがおもしろくない
- ・英語がおもしろくない

### 〈12月〉

#### 楽しい理由(時)

- ・英語を使って友達と話すのが楽しい
- ・先生や友達に英語が伝わった時
- ・いつの間にか英語を話せるようになった時
- ・ゲームをしながら英語だけでなくアイコンタクトやクリアボイスが身に付くから
- ・難しかった英語がすらすら言えるようになった時
- ・英語を使ったゲームをする時
- ・新しい英語を覚えた時
- ・歌やチャンツでリズムにあわせて練習するとき
- ・外国の人が来た時

#### つまらない理由(時)

- ・何を言っているのかわからない
- ・英語の発音が難しい
- ・ジェスチャーが苦手
- ・英語が話せない
- ・ゲームが楽しくない

※盛り上がり、笑うことが多くって、みんなとつながり合える時間だから

授業の様子 〈6 学年〉



ハウスゲームで課題を提示  
(どの国の国旗を窓から見える絵から考える)



振り返りの時間  
(自己評価カードに感想を書く)

6 年間指導計画

外国語活動 年間指導計画

月	第5学年		第6学年	
	単元	内容	単元	内容
4月	Lesson1 世界の「こんにちは」を知ろう	①世界の「こんにちは」を知ろう ②みんなとあいさつを試みよう ③名刺交換をしよう	Lesson1 アルファベット で遊ぼう	①アルファベットを探そう ②聞こえたアルファベットはどれかな ③アルファベットを探そう
5月	Lesson2 ジェスチャーをしよう	①感情を表す表現を知る ②進んでジェスチャーをしよう ③話しかけよう	Lesson2 いろいろな文字 があることを知 ろう	①世界の言葉と文字 ②この数は何ですか ③アルファベットを探して発表し よう
6月	Lesson3 数で遊ぼう	①いろいろな国の数え方 ②1~20の数 ③ゲームをしよう	Lesson3 友だちの誕生日 を知ろう	①自分の誕生月の言い方を知ろう ②誕生月を言おう
7月		④ゲームをしよう		③同じ誕生日の友だちは何人いま すか
8月				
9月	Lesson 4 自己紹介をしよう	①好きですか ②好き嫌いを尋ねてみよう ③好き嫌いを尋ねてみよう ④自己紹介をしよう	Lesson 4 紹介しよう	①できるか・できないかを考えな がら聞いてみよう ②あなたはできますか ③インタビューをしよう ④自己紹介しよう
10月	Lesson5 いろいろな衣装を 知ろう	①いろいろな衣服 ②欲しいものは何ですか ③買い物をしよう ④買ったものを発表しよう	Lesson5 道案内をしよう	①建物やお店の言い方を知ろう ②どこに着きましたか ③オリジナル・タウンを作って紹 介しよう
11月	Lesson6 外来語を知ろう	①身の回りにある外来語 ②欲しいものは何ですか ③フルーツパフェを作ろう ④フルーツパフェを作ろう	Lesson6 を紹介しよう	①世界には様々な英語がある ②どこの国に行きたいですか ③行きたい国を尋ねてみよう ④自分が行きたい国とその理由を 発表しよう
12月	Lesson7 クイズ大会をし よう	①これは何かな ②これは何ですか ③クイズを作ろう ④クイズ大会をしよう	Lesson7 紹介しよう	①他の国は今何時ですか ②何時に起きますか ③自分の一日を紹介しよう
1月	Lesson8 時間割を作ろう	①世界の小学校で学習する教科 ②月曜日は何を勉強しますか ③何の先生ですか ④自分たちの時間割作り	Lesson8 オリジナルの劇 をつくろう	①どのような話でしょうか ②オリジナル「大きなかぶ」の話 を考えよう ③オリジナル「大きなかぶ」の物 語を発表しよう
2月	Lesson9 ランチ・メニュー を作ろう	①私たちの朝食と世界の朝食 ②私の欲しい料理 ③ランチ作り ④オリジナル・ランチ・セット 作り	Lesson9 将来の夢を紹介 しよう	①様々な職業の言い方を知ろう ②あなたのつきたい職業は何で すか ③私の夢を聞いてください
3月				

## 7 指導案

### 5 学年 外国語活動 学習指導案

- 1 単 元 名：数で遊ぼう（第2回目）英語ノートp.18・19 第 5 学年 1 組
- 2 使 用 教 材：英語ノート附属DVD，数字ピラミッドゲーム用紙
- 3 本時のねらい：様々な数え方や11～20の数の言い方を知り，数字ピラミッドゲームをする。
- 4 本 時 の 展 開

時	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
3	1 はじめの挨拶 『 Hello song 』		△CD, ラジカセ
3	2 Let' s Sing1  ○1～10の数のカードを黒板に掲示し，“Ten Steps”を歌うことを告げる。 ●ジェスチャーをしながら，英語で歌う。 ●1～10の数字のどれかを発音する代わりに手をたたいて歌う。		△数のカード, CD, パソコン
7	3 Let' s Play1  ○英語ノート p.18の図の中に，表にある3種類の形がいくつあるかを尋ねる。 ○児童と共に「正」を示しながら形を数え，11以上の数字の言い方を紹介する。 ●3種類の形がいくつあるか数え，その数を表に「正」を使って書き込む。		△英語ノート，パソコン  ※隠れた四角形に気づかせながら，児童が興味をもって数えられるようにする。 「4本縦線を引き，それに横に1本線を引いて」数え方も示し，国によって数え方が違うことを児童に気付かせるようにする。
7	4 Let' s Sing2  ○黒板に11～20の数のカードを黒板に掲示し，1～10の代わりに，11～20の数に替えて“Ten Steps”を歌うことを告げる。 ●1～10の代わりに11～20の数に替えて“Ten Steps”を歌う。		△数のカード, CD, パソコン  ※ジェスチャーをしたり，数字のどれかを発音する代わりに手をたたいたりして歌い，11以上の数に慣れ親しませる。
5	5 Let' s Listen  ○英語ノート p.18を開け，CDを聞いて，数字を順に線で結ぶように指示をする。 ●CDから聞こえてくる数字を順に線で結び，何の絵かを答える。		△英語ノート，パソコン
17	6 Let' s Play2  ○数字ピラミッドゲームをすることを告げ，やり方をデモンストレーションで示す。 ○ピラミッドの数字に付いた○の数を尋ねる。 ●ゲームのやり方を知り，友達とゲームをする。 ●数を英語で数えて発表する。		△英語ノート，数字ピラミッドゲーム用マス目用紙(黒板掲示用)
3	7 本時の振り返り		
	8 終わりの挨拶 『Good bye song 』		

#### 5 評価規準

3. 外国語を通じて，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。
- ・1～10の数をしっかり言いながら進んで歌おうとする。
  - ・20までの数を聞いたり言ったりして，積極的にゲームに参加しようとする。  
(行動観察，感想発表，英語ノート点検，自己評価カード)

#### 6 指導後の反省点等

- ・ゲームによって，互いにコミュニケーションを図ろうとする意識が高まった。
- ・活動が多いが，どの活動もねらいを達成するために必要である。テンポよく進めた。